

授業科目名: 保育内容(人間関係)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数: 2単位	担当教員名: 齋藤憲子
			担当形態: 単独
実務内容 (実務家教員の場合)	学校現場での勤務経験を持つ教員が、教育現場に求められる実践的な指導をする。		
科目	領域および保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
領域「人間関係」のねらい及び内容について理解するとともに、子どもの発達に即した具体的な保育場面を想定し、保育者としての「かかわる力」を養う。			
授業の概要			
次の内容について学修をする。 ・領域「人間関係」のねらい、内容、内容の扱いについて理解する。 ・乳幼児期の子ども「人間関係」の発達と指導について理解する。 ・具体的な場面を想定し「人とかかわる力」を育むための指導を構想することができる。			
授業計画			
第1回:保育の基本「人間関係」 第2回:乳幼児の発達と「人間関係」 第3回:保育の中の「人間関係」 第4回:保育における領域「人間関係」 第5回:将来を見通した統合保育の充実を考える(障害のある子から「コミュニケーション」のお本質を学ぶ) 第6回:生涯発達における乳幼児期の関わり 第7回:人間関係発展の技法:教育要領・保育指針に見る領域「人間関係」 第8回:保育活動における共同の意味(レッジョ・エミリアの実践の分析から) 第9回:3歳未満児保育における人との「人とかかわる力」 第10回:幼児保育における「かかわる力」 第11回:保育における集団と個の関係 第12回:親子課関係を問い直す。 第13回:幼稚園・保育所における大人との関係と子どもの育ち 第14回:地域における世代間交流と子どもの育ち 第15回:多文化保育と人間関係 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト			
金田利子・齋藤政子編著(2006)「保育・教育ネオシリーズ『保育内容・人間関係』第二版」同文書院 978-4-8103-1332-1			
参考書・参考資料等			
・文部科学省(2021)「幼稚園教育要領」フレーベル館 ISBN978-4-577-81447-5 <a href="https://www.mext.go.jp/content/1384661_3_2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1384661_3_2.pdf</a> ・厚生労働省(2017)「保育所保育指針」フレーベル館 ISBN978-4-577-81423-9 <a href="https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00010450&amp;dataType=0&amp;pageNo=1">https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00010450&amp;dataType=0&amp;pageNo=1</a>			
学生に対する評価			
レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			